

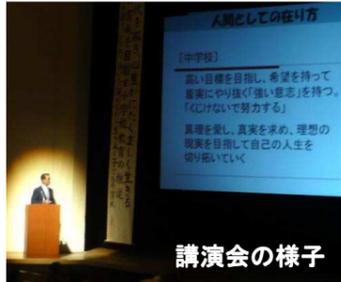
# (財)赤岩公德体財団便り

## 岡山県小学校校長教育研究大会にて赤岩理事長が講演を行いました

11月10日(火)備前市市民センターにて行われた、「岡山県小学校校長教育研究大会」において、赤岩理事長が「人を育てる」という演題で講演を行いましたので、その内容を一部抜粋してご紹介致します。この大会には岡山県内の小学校の校長先生約400名が参加され盛大に執り行われました。



理事長:赤岩達重



講演会の様子



会場の様子

### 「自然の摂理」と「宿命」「運命」について

まず“自然の摂理”をすべての取り組みの原理原則としなければならないと思います。太陽と地球と月は何億年も同じ位置で関係を保ってきた、日本にはすばらしい四季がある、また生物は進化しながら継続していくという原理原則がある。つまり我々人間はこの自然の摂理の中で生かされている。そして(株)メイトの社是としている「真理の追求」は自然の摂理に合致しているかどうか基準になります。我々はこの自然の摂理に逆らっては生き残れない、物事は原理原則に従うものだと思うのです。

またこの原則は永続的な価値を持ち、われわれ人間の行動に正しい方向性を与えてくれる、と考えます。

ただし人間の生き方についてはこうも言えるのではないのでしょうか。変えられないものとしての『宿命』つまり生まれ持ったもので変える事ができない、生まれた国、性別、容姿など死ぬまで背負っていくべきもの、と変える事が出来るものとしての『運命』これは宿命を背負って自ら切り開いていくべきもので、人間の『運命』とは自分の心の持ちようでも変化するものだと思います。

### 「徳」について

私は常日頃から人はどうすれば幸せに生きられるのかを考え続けております。人は自分以外の何かのために生きれば幸せな生活を過ごすことができ、それが「生きる力」となると思ってきました。そしてそれを支える心・技・体・徳のうち、特に徳を重視しています。

人を思いやる心である仁を土台として正義を置き、礼を尽くし、知恵を磨き、人を信じる、これらによって自然と備わってくるものが徳です。人間としてこの徳こそ人間たる由縁だと考えます。



私の考える人間観から、話を本題である「人を育てる」に戻していきたいと思います。教育者の皆様を前にしてですが、小学校時代には、徳知体のバランスの良い教育が一番大事だと考えます。中学校になると目標を持ち、くじけないで努力すること、自己の人生を自らが切り拓いていける人間をいかに育てるかがポイントとなり、それにはまず、家庭のしつけからしていかなければならない。子供に続ける喜びを与え、それにより心が美しくなり、心が強くなることは何か。それは「家事の手伝いを毎日何か一つする」ことです。是非、させてみてください。

## 赤岩公德体財団が目指す人づくり

### 理念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



### 自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う

#### 知育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め自分を高める努力を重ねる。

#### 徳育

個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。

#### 体育

スポーツを通じて、他者と協調し、心身の健全な育成につとめ共に生きる。

### 5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します

## 平成21年度 助成団体のご紹介 ※内面にもあります。

### 邑久ミニバスケットボールスポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。  
夏の合宿で指導者、保護者、子供達の関係が活動を通して深まり、良い雰囲気の中でお互いが成長できた事です。



②今年の活動の中で一番苦労していること。

大きな大会は10人以上の選手登録が必要ですが、団員確保に苦労しました。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

以前までは個人プレーが目立っていたのですが、現在はメンバー全員でパスをつなぐチームプレーができるようになりました。

④インフルエンザによる影響。

大いにありました。団主催の試合、イベント、練習の中止など、活動に大きく影響しました。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。

スポーツは礼に始まり礼に終わる。お互いが感謝する心や相手を思いやる気持ちを持って日頃から練習をするように教えています。



⑥当財団に望むこと、期待すること。

毎月他のスポーツ少年団がどのような活動を行っているのか知りたいです。

### 倉敷連南スポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。

2009年度倉敷市スポーツフェスティバル(倉敷市少林寺拳法大会)において多数の団員が入賞したこと。特に、女子中学生の部では最優秀賞を受賞することが出来ました。



②今年の活動で一番苦労している事。

練習をあまり厳しくしすぎると落後者(所謂落ちこぼれ)が起き、ソフトにすると全体的に雰囲気が緩み、結果(精神的な成長)が出ないことにジレンマを感じました。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

大会やイベント等に積極的に参加するようになってきた事。

④インフルエンザによる影響。今のところありません。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。

普段から、赤岩公德財団の理念と多々共通する少林寺拳法の理念、『自己確立』『自他共楽』を説いています。



⑥当財団に望むこと、期待すること。

今後も青少年健全育成活動に尽力している団体(指導者)のご支援をお願いいたします。

## 財団法人 赤岩公德体財団 平成22年度助成金募集要綱

～礼儀・感謝の心を育てる徳育・知育・体育の向上を目指して～

### ◎応募資格

- ①岡山県内に所在するスポーツ少年団であること。
- ②スポーツ少年団に所属するチームであってその活動が活発であると財団が認めるもの。

### ◎助成対象

- ①スポーツの練習、試合を通じて発生する費用を対象とします。
- ②活動の為に必要な消耗品費、設備費、賃借料、光熱費などですが、飲食費、交際費は対象になりません。
- ③助成対象期間は募集年度と同じ平成22年4月1日から平成23年3月31日までとします。

### ◎助成金額

1団体につき10万円を上限とします。

### ◎応募方法

所定の応募用紙『活動助成申請書』にご記入の上ご提出ください。なお、応募用紙は公共の教育施設に用意しております。また、(株)メイト内(財)赤岩公德体財団事務局 Tel:0869-88-0243 担当:入江までご連絡くだされば、送付させていただきます。

### ◎応募期間

平成22年2月1日から2月28日まで

### ◎提出先

(株)メイト内(財)赤岩公德体財団事務局 担当入江まで

[住所: 岡山県和気郡和気町佐伯526-3 Tel: 0869-88-0243]

なお、申請書の返却はいたしません。審査目的以外の使用は致しませんのでご了承ください。

(財)赤岩公德体財団便りについて

発行者: (財)赤岩公德体財団事務局

住所: 〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL: 0869-88-0243

担当: 入江・竹山

発行頻度: 年2回

ご意見・ご感想等ございましたら、こちらまでご連絡をお願い致します。



# 平成21年度 助成団体のご紹介 (10団体)

※裏面にもあります。

## 質問内容

- ①今年のスポーツ少年団活動において伝えたいことや嬉しい出来事があれば教えてください。
- ②今年の活動の中で一番苦労していることがあれば教えてください。
- ③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思われることは何ですか。
- ④インフルエンザによる影響はありましたか。
- ⑤赤岩公徳体財団財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えていただいていますか。
- ⑥赤岩公徳体財団に望むこと、期待することがあればお聞かせください。



## 邑久バレースポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。今年当団体にとって25周年記念大会を開く事ができてとても良かったし、思い出に残る年となりました。

②今年の活動の中で一番苦労していること。インフルエンザによる影響で、試合に出場できなかったことです。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。仲間を大切にすること。

④インフルエンザによる影響。ありません。(上記の通り)

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。誰にでも挨拶をすること。自分一人ではスポーツなどが出来ないこと。それには皆に感謝をすること。そして自分を大切にしないと伝えていっています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。特にありません。



## 本荘バレースポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。

①全日本男子バレーと岡山シーガルズの選手・コーチにストレッチ・アップ・パスの指導を受けた事。  
②春より4名の団員が増えた事。

②今年の活動の中で一番苦労している事。

①1年生から6年生の活動の中で、基本をわかり易く教えること。②団員の確保と持続させること。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

①バレーボールだけではなく基礎体力づくりを目指しており、日々のトレーニングのおかげで力がついてきたこと。  
②大きな声であいさつができるようになったこと。

④インフルエンザによる影響。

和気地区の大会で少ない部員の中の2人がかかってしまい、6人ギリギリで戦いました。日々の練習も学級閉鎖があり少ない人数で頑張りました。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。今回学ばせていただきましたが、我団としては同じ思いで指導をしており、改めて大切さを痛感しました。練習の最初と最後のミーティング時に日々伝えていきます。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

このようなありがたい事業を続けていただきたいと思います。団員・保護者・指導者の思いを一つにし、日々成長していきたいと思っています。



## 和気武道館和気剣道スポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。

①剣道を学ぶだけでなく、剣道から色々なことを学んで欲しいという事(礼儀・感謝・自主・自立等)  
②嬉しかった出来事はいつも負けるばかりしていた男の子がある大会で初めて勝ち、その後の3試合全て勝ち、自信をつけた事。(次の稽古での顔つきが変わった)

②今年の活動の中で一番苦労していること。子ども達の意欲をどう引き出すか。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。試合に行ってもいつもと同じように大きな声でのびのびと出来るようになったこと。挨拶がよく出来るようになったこと。

④インフルエンザによる影響。

10～11月ではインフルエンザで多くの子どもが欠席した。(試合に出場できなかった子どもが1名)

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。稽古前後に身近な出来事と絡めて話をしています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

今後も助成活動を続けて欲しいです。宜しくお願い致します。



## 伊里軟式野球スポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。中国労金杯の県大会に出場できたことです。

②今年の活動の中で一番苦労していること。試合時、保護者が仕事でなかなかこれない人がいたので、少ししんどかったです。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。低学年も高学年も積極的に挨拶をするようになったことと、道具を大切にしていることです。

④インフルエンザによる影響。11月に入って少しずつ団員がかかってしまい、練習が出来なくなりました。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。指導者の方から練習中にこの5つの誓いを教えてもらっています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

①これからも支援を継続していただきたいです。  
②財団主催の大会があったらいいなと思います。



## 石生スポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。

夏の合宿に多くの卒団生が参加してくれ、楽しく練習する事ができました。卒団したら終わりというのではなく、後輩を見守り、または指導者を手伝ってくれるのはとても嬉しいです。

②今年の活動の中で一番苦労していること。小さな小学校の中でのスポーツ少年団なので、団員確保が難しいです。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思う事。低学年もいるチームですが、皆で力を合わせてそれなりに勝てる様になった事。

④インフルエンザによる影響。ここ最近、学年閉鎖もあり、練習を中止し、公式試合も棄権しなければならなくなりました。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。

まず第一に礼儀正しく挨拶ができること。そして、スポーツ活動だけでなく地域の活動にも積極的に参加し、皆で力を合わせて目標に向かって努力するように指導していきたいと思っています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。今後も子ども達のためにご支援よろしくお願い致します。



## ドルフィンスポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。春季全国大会に出場できた事が一番ですが、他にも県外の大きな大会、中四国大会、西日本親善ソフトボール大会に参加できたことです。

②今年の活動の中で一番苦労していること。

少子化の中、新入団員が入らず、団員確保に苦労しています。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

多くの試合をするなかで積極的になり、最後まで諦めずプレーする気持ちが強くなりました。

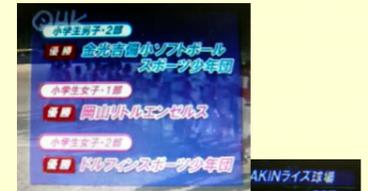
④インフルエンザによる影響。

特にありませんでした。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。練習、試合を通じて子ども達に教えていることが多く、挨拶に関しては進んで出来、自らできたことを褒めるようにしています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

助成金の支援が少しでも毎年あることを望みます。



## 行幸スポーツ少年団

①今年の活動において伝えたい事や嬉しい出来事。

優勝など出来ませんでしたが、目標に向かって最高のチームワークで戦えました。また今年は3団合同チーム(長船町内)で出場する機会があり、他のチームの小学生と仲良くなれたことが嬉しかったです。

②今年の活動の中で一番苦労していること。

子供たちは試合になると緊張するので、いかにソフトボールを楽しめるようにさせられるかが一番苦労しました。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

①道具の整理、整頓が自分達(子供)で出来るようになったこと。  
②自分達で考え、新しいこと(例:集合時間を決め準備をする)が出来るようになったこと。

④インフルエンザによる影響。特にありませんでした。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。

練習では厳しくするが、試合ではミスをして「ドンマイ、次頑張ろう」など前向きな声かけをするよう言っています。また保護者が来られていたら、最後にお礼の挨拶をしています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

赤岩公徳体財団には大変感謝しています。子供たちがスポーツを通じて自立する青少年になるよう少しでも手助けが出来ればと思います。指導しています。今後もこのような助成金制度が続くように祈っています。



## 石井ソフトボールスポーツ少年団

①今年の活動において伝えたいことや嬉しい出来事。

春からずっと勝てず悔しい思いをしていましたが9月の南輝招待大会で初めて準優勝し、子供や保護者の笑顔を見る事ができ、感動しました。

②今年の活動の中で一番苦労していること。

1学年の人数が少ない為、3～6年生13名で常に試合に参加するチームを結成していますが、練習する際の学年にあわせるべきか迷いました。

③今年の活動を通じて子供たちが一番成長したと思うこと。

「我々はやれば出来るんだ！努力した事が無駄ではなかった」という事が子供達の心に芽生え、練習も一層身を入れてやるようになりました。

④インフルエンザによる影響。特にありませんでした。

⑤当財団の理念・5つの誓いを子供達にどのように教えていただいているか。

スポーツ少年団の活動理念は財団の理念に共通します。子供たちには練習の場において財団理念及び5つの誓いを教えています。

⑥当財団に望むこと、期待すること。

赤岩公徳体財団が主催する各種スポーツの大会があれば喜ばれると思います。

